

第1回

TUT-CMSI

計算物質科学“見える化”シンポジウム

“見えない”科学から“見える”科学へ

原子や分子の振る舞いを大規模計算で明らかにする計算物質科学。次世代の新デバイスや薬剤、燃料電池などの開発への応用が期待されています。にもかかわらず、一般社会からは「難しい」と敬遠されがちです。

目に「見えない」ナノの科学を「見える」科学としてわかりやすく伝えるにはどうしたらいいのか？

「見える化」の新しい手法を拓くため、本シンポジウムを開催します。

日時：平成25年

3/5^④

11:00 ⇒ 18:00

会場：秋葉原UDX4階

UDX NEXT-3 > フロア展示 11:00 ⇒ 12:50
UDXシアター > シンポジウム 13:00 ⇒ 18:00

参加：事前登録制

定員150名になり次第締め切ります。(参加無料)

登録Webページ：

<http://www.cms-initiative.jp/ja/events>
「見える化」シンポジウムをクリック

主催：計算物質科学イニシアティブ(CMSI)

(中核拠点)

東京大学物性研究所・自然科学研究機構分子科学研究所
東北大学金属材料研究所

豊橋技術科学大学(TUT)

次世代シミュレーション技術者教育推進室(ADSIM)
CMSI人材育成・教育拠点

協 力：理化学研究所計算科学研究機構(理研AICS)

理化学研究所HPCI計算生命科学推進プログラム
海洋研究開発機構・東京大学生産技術研究所
計算基礎科学連携拠点

連絡先：東京大学 物性研究所内 計算物質科学イニシアティブ(CMSI)事務局
〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5 TEL 04-7136-3279 / FAX 04-7136-3441
E-mail: adm-office@cms-initiative.jp / URL: <http://www.cms-initiative.jp/>

国立大学法人
豊橋技術科学大学

計算物質科学イニシアティブ

CMSI

第1回

TUT-CMSI

計算物質科学“見える化”シンポジウム

“見えない”科学から“見える”科学へ

●平成25年3/5(火) ●会場 秋葉原UDX4階 UDX NEXT-3 > フロア展示 11:00>12:50
UDXシアター > シンポジウム 13:00>18:00

フロア展示 11:00>12:50 会場 UDX NEXT-3

「計算科学の広報と教育活動」

TUT・CMSI・理研AICS・
HPCI戦略プログラム5分野 他

シンポジウム 13:00>18:00 会場 UDXシアター

「“見えない”科学から“見える”科学へ」

13:00
↓
13:20
挨拶：榊 佳之 (TUT学長)
挨拶：下間康行 (文科省情報課長)
活動紹介：
常行真司 (東京大学/
CMSI統括責任者)
稲垣康善 (TUT副学長)

13:20
↓
13:40
「計算物質科学広報の現状と
課題」：
藤堂眞治 (東京大学/
CMSI広報代表)

13:40
↓
14:30
■ 招待講演 ■
「理解と感覚」：植松秀樹 (NHK)

14:30
↓
14:50
コーヒーブレイク
(シアターホワイエ/NEXT-3)

14:50
↓
15:40
「可視化とシナリオで科学を面白
く伝える」：伊藤智義 (千葉大学)

15:40
↓
16:30
「“見える化”は決め手になるか？
～分野外からみた計算物質科
学の強みは～」：
横山広美 (東京大学)

16:30
↓
16:50
コーヒーブレイク
(シアターホワイエ/NEXT-3)

16:50
↓
17:40
■ パネルディスカッション ■
「“見えない”科学と社会をつな
ぐために」

モデレーター：
後藤仁志 (TUT ADSIM幹事)
パネラー：植松秀樹・伊藤智義・
横山広美・関野秀男・辛木哲夫
(理研AICS広報国際室長)

17:40
↓
18:00
■ まとめ ■
「“見えない”世界を“魅せる”
には」：関野秀男
(TUT/CMSI人材育成委員)

招待講演者紹介

【植松秀樹】

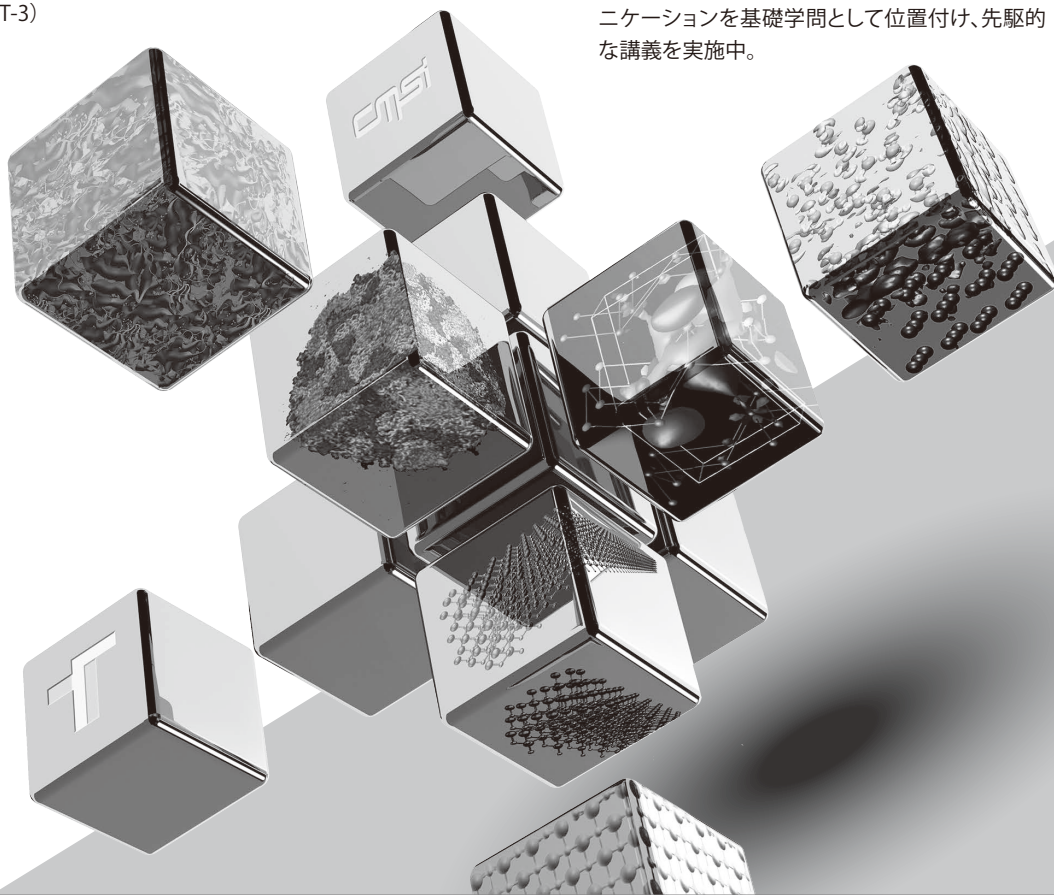
NHKディレクター。NHKスペシャル『コンピュー
タ革命 最速×最強の頭脳誕生』を担当。NHK
スペシャル『素数の魔力に囚われた人びと～
リーマン予想・天才たちの150年の闘い』で、
2010年科学ジャーナリスト大賞受賞。映像にな
りにくい科学の世界を、CGを駆使して巧みに可視
化し、科学の魅力を伝えている。

【伊藤智義】

千葉大学大学院 工学研究科人工システム科学専
攻 教授。2012年「ホログラフィ専用計算機によ
る次世代3次元映像技術の研究」で文部科学大
臣表彰科学技術賞受賞。著書『スーパーコン
ピューターを20万円で創る』や、漫画『BRAINS～
コンピュータに賭けた男たち～』等の作家として
も活躍中。

【横山広美】

東京大学大学院理学系研究科准教授/広報室副
室長。社会と科学を結ぶ「科学コミュニケーション」が専門。NikonのWebページ連載中の『光と
人の物語～見るということ』で2007年科学ジャー
ナリスト賞受賞。大学院教育課程に科学コミュ
ニケーションを基礎学問として位置付け、先駆的
な講義を実施中。



国立大学法人
豊橋技術科学大学

計算物質科学イニシアティブ
CMSI